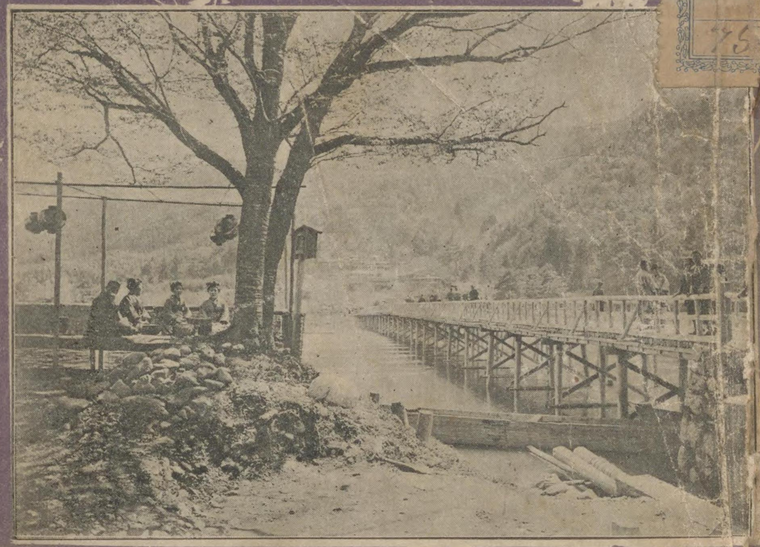
97-75
1200501339819
97
75
M

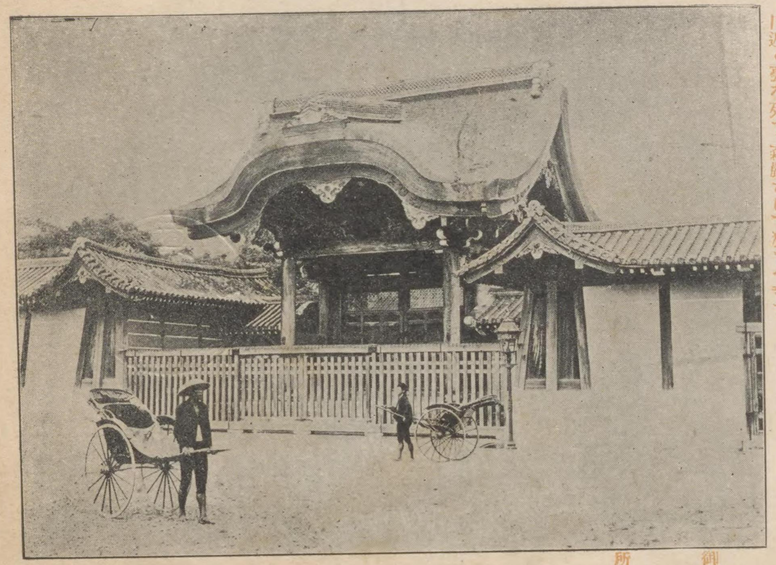
都名勝寫眞帖



京都山水の秀媚にして名勝の數多なる天下に冠たり本書の片々たる固より之を盡すにあらずたゞ其著しきものを擇みこれの み附記の説明拙劣澁滯蛇足を書くの觀ありと雖之れたゞ未遊者の便に供するのみ本書の特色とする處は東部に西部にはた市内に散在せる社寺勝地を道順に掲しと之れなり實地探勝を試みんする人爲に多少利便を感ずるとあるべし本書の刊行に當り一言を陳べて序辞す

編者識

御所　三條大橋　三條離宮
六角堂　東本願寺　西本願寺
東寺　島原　稻荷神社
東福寺通天　泉涌寺　三十三間堂
帝國博物館　豐公廟　大佛鐘堂
豐國神社　耳塚　八坂高臺寺
西大谷　清水寺　圓山公園櫻
東大谷　八坂神社　四條鉄橋
都ノ踊　祇園會　大極殿
智恩院　粟田青蓮院　南禪寺
インクライン　北垣氏銅像疏水棧橋　眞如堂
永觀堂　黒谷　吉田神社
銀閣寺　帝國大學　大德寺
下加茂神社　上加茂神社　北野天滿宮
金閣寺　平野神社　高雄
妙心寺　御室仁和寺　松ノ尾神社
嵐山　保津川　男山八幡宮
長岡天神　平等院

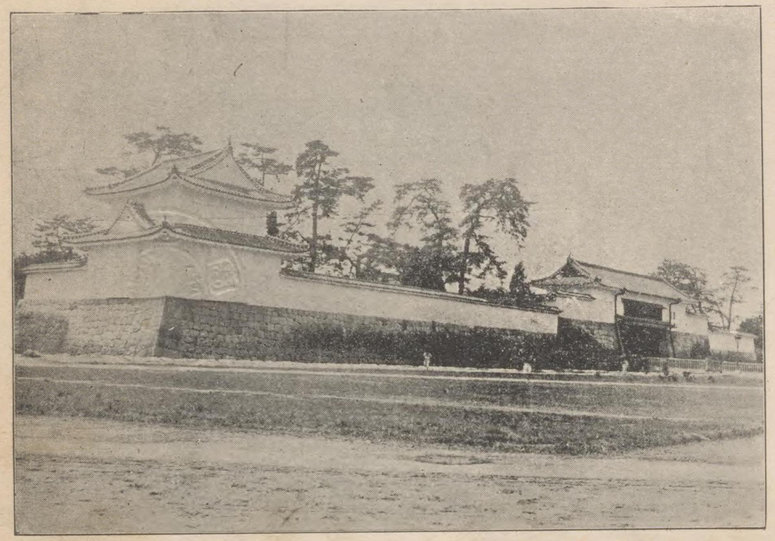


御所

御所は上京區御苑内の中央にあり　郭城東は寺町より西は烏丸に北は今出川より南は丸太町に亘る　紫宸殿は御所正門の中央にあり　謂殿之に近く甍を列す　謂殿とは犯すべからず

三條大橋

天正十八年豐太閤の創營にかゝり元祿以後改築をなすも擬寶珠は元始のものを襲用す我國に於ける名橋の一なり



二條離宮

荷二條城にして永祿十二年織田信長の築造にかゝり光秀の亂に燒かれたるを德川家康公再築せしもの殿堂の彫刻精緻豪麗衆人目を眩ず

六角堂

眞宗の祖師　親鸞聖人が比叡山修行の折　百日間雪降坂の瞼阻み起へ此堂に參籠し　滿願の曉　本尊の靈告により法然上人を師とし淨土眞宗を開きし奇跡を以て名あり堂形六角二元治元　焚後の再建にして本尊は一寸八分の如意輪觀音の黃金佛なり

東本願寺

慶長七年 徳川家康公の官命により 後陽成天皇の勅許を得て 本寺を烏丸七條に建立す 数知七入より十一代を経て現知七入に至る 回禄の災に罹ること三回 今の両堂は明治二十八年遷佛遷座の式を挙げしもの なり 大堂屹然として雲表に聳ゆ 内陣の荘厳 燦然として入目を眩す 寺の北城 園池の中部 巌高の大滝水あり 白糸天に沖す壮観譬りなし

西本願寺

祖師親鸞聖人開宗以降茲に六百有余年本寺は墨加十人の當時大阪より此地に移る營宇宏壯結搆莊麗殿内の銀杏樹幹根雄屈枝葉繁茂し蒼鬱たり古來火防た具て著し殿外鶴鵞の池あり風致に富む

東寺

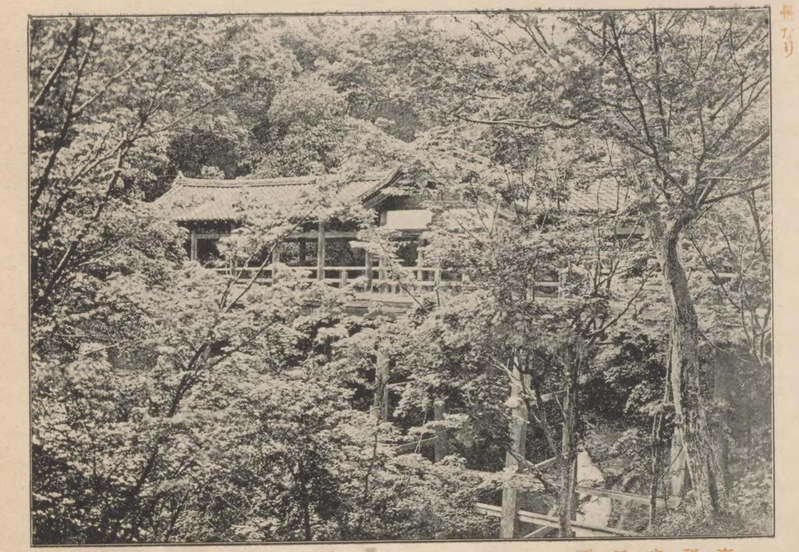
眞言宗の大本山にして教王護國寺と稱す　弘仁年間　後嵯峨天皇より
弘法大師に賜ふ處なり　金堂　講堂　大師堂　南大門　八足門　築地塀等なり
五重塔は老樹鬱茂せる間に　屹然として高く天空に聳ゆ　晩景最もよし

島原

別に一郭をなし妓樓軒を並ぶ　大菱屋　角屋は門前出口の柳とゝもに名高し　毎年四月二十一日艶容の太夫は盛裝して道中を行ふ

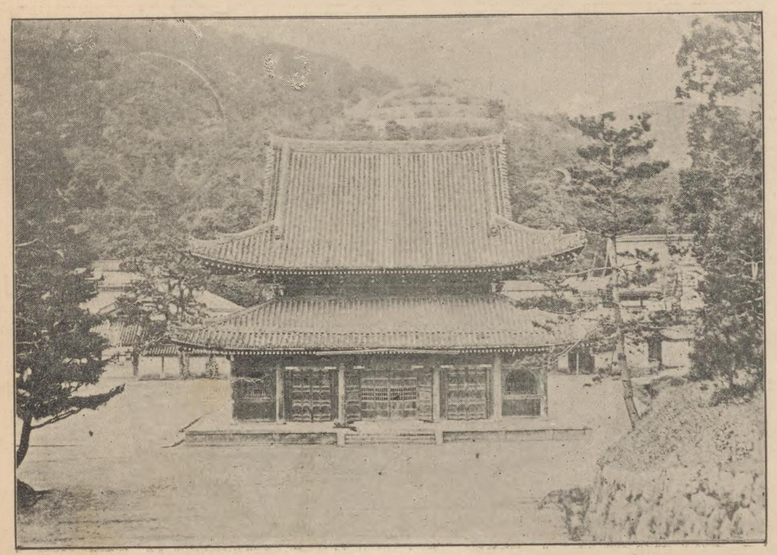
稻荷神社

稻荷神社は市の東南端にあり官幣大社にして社殿極めて壯嚴を極む祭禮に景きまつる神輿五臺鐵刻彫線金色燦爛眩目の美天下に冠たり



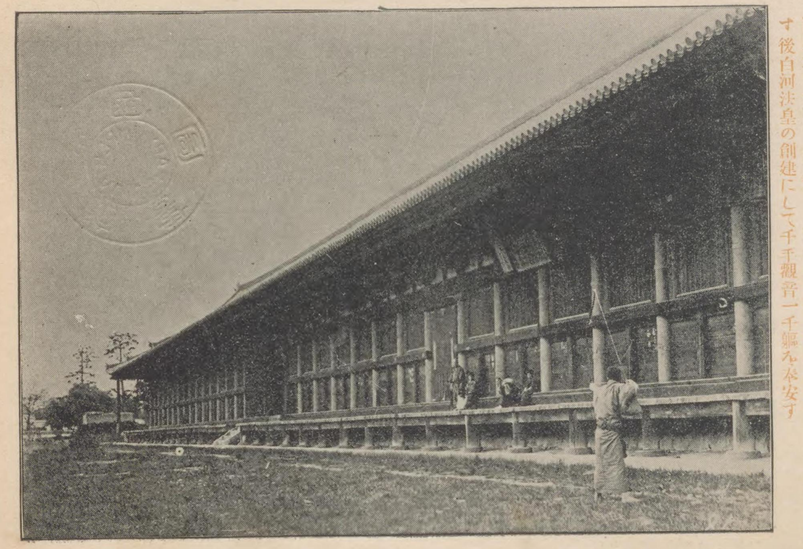
東福寺通天

伏見街道本町十八丁目にあり 惠日山と號す開基は聖一國師當山の涅槃像は 兆殿司の筆にして著名なり 通天橋邊 楓樹多く紅霧の天地佳景なり



泉涌寺

真言の御別所にして　近くは　英照皇太后を始め歴代の皇統の御葬を本寺に清泉湧出するを以て寺號となす寺域廣潤　老松古槐鬱蒼として幽邃靜寂なり



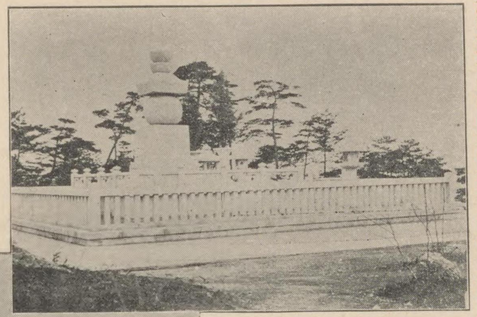
三十三間堂

南北六十六間の長六形一間を隔て、柱を建つ、俗に三十三間堂と稱す後白河法皇の創建にして、千手觀音一千體を本安す

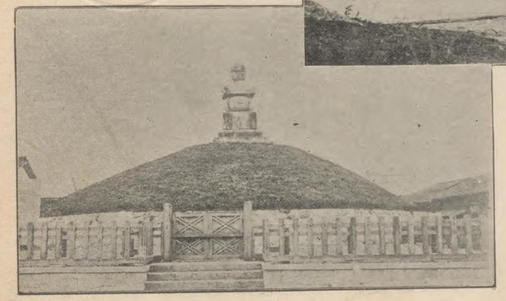
八坂塔

高臺寺

八坂法觀寺は聖德太子草創にして今は三重塔のみ殘存す
慶長年中太閤秀吉公の北ノ政所創建立菩提寺なり鷲峯山といふ禪宗
にして本尊は釋迦牟尼阿難を安置す境内最佳多し



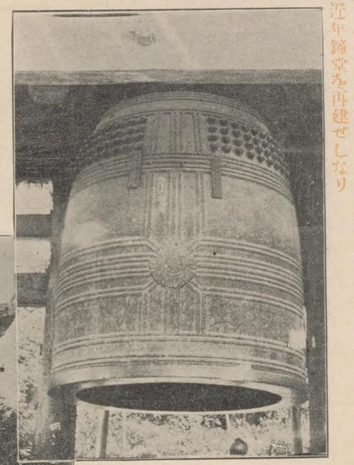
豐公廟



耳塚

豐太閤を葬る德川氏に及んで破壞せしを明治三十一年豐國會の事業として大修築を加ふ　神威洋溢なり

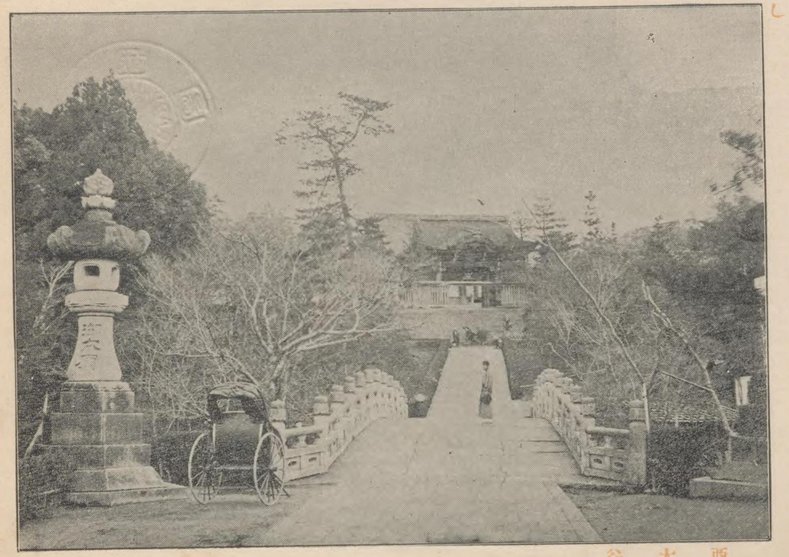
加藤清正　征韓の役敵兵の耳を斬り之を埋めし者なり今塚上五重塔建



大佛

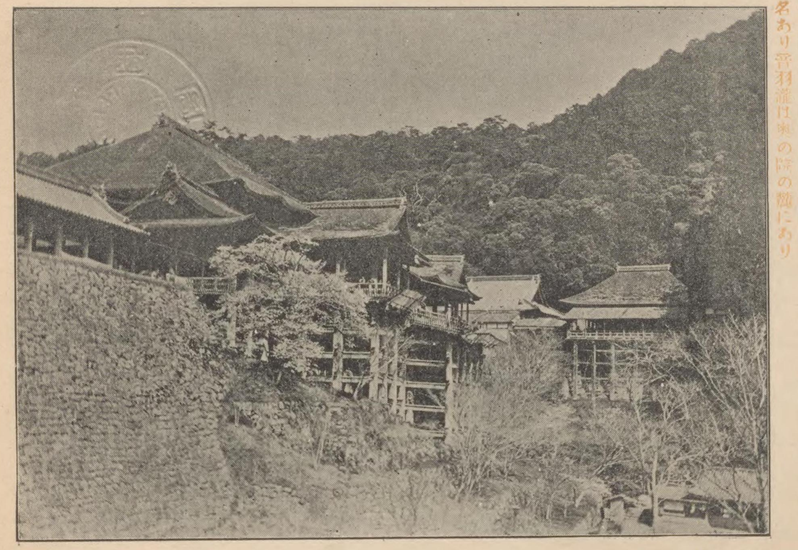
鐘堂

天台宗なり　大鐘の高さ一丈四尺　徑九尺　厚さ九寸　目方二万二千貫
目　慶長九年豊臣秀頼公の鑄造にかゝる　久しく地上に置きありしを
近年鐘堂を再建せしなり



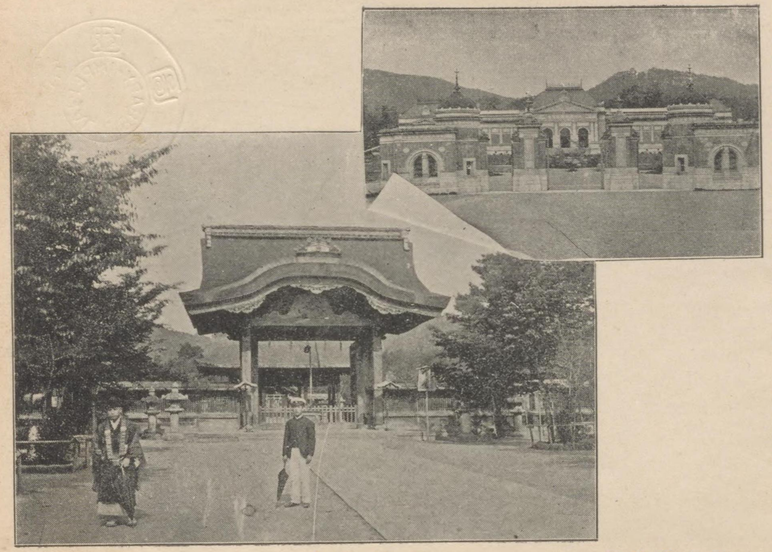
西大谷

本派本願寺の別所なり　唐門前に蛟月池あり　之に架せる八回通橋ござ
目鏡橋の俗稱高し　池中の蓮華　華を開けば極楽の八功徳水の寶池の如
し



清水寺

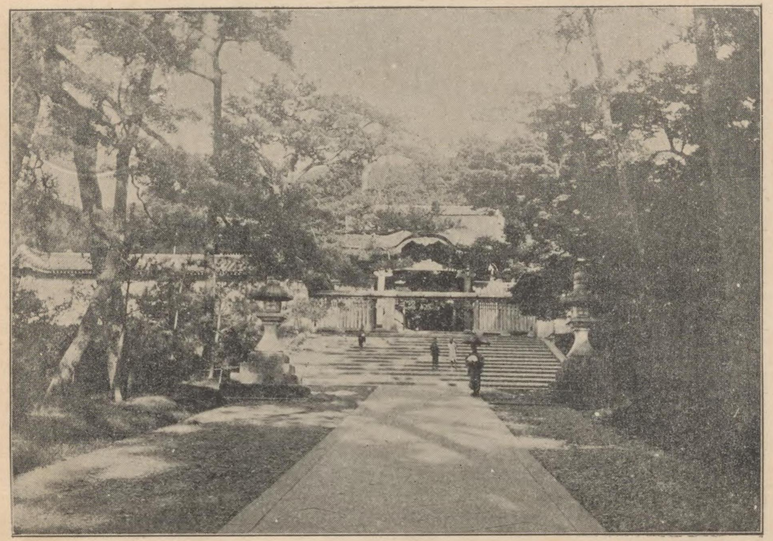
眞言宗　末寺に十一面觀世音を祀れり　前面の舞臺より四南を望めば遠くは淀川の長流を田疇の間に瞰見て　恰も畫圖の如し　近畔境内多木有さて百間北側九區劃と極樂　地獄區劃を多く設へたり江風致最も佳　新高雄の名あり音羽瀧は東の麓にあり



帝室博物館　豐國神社

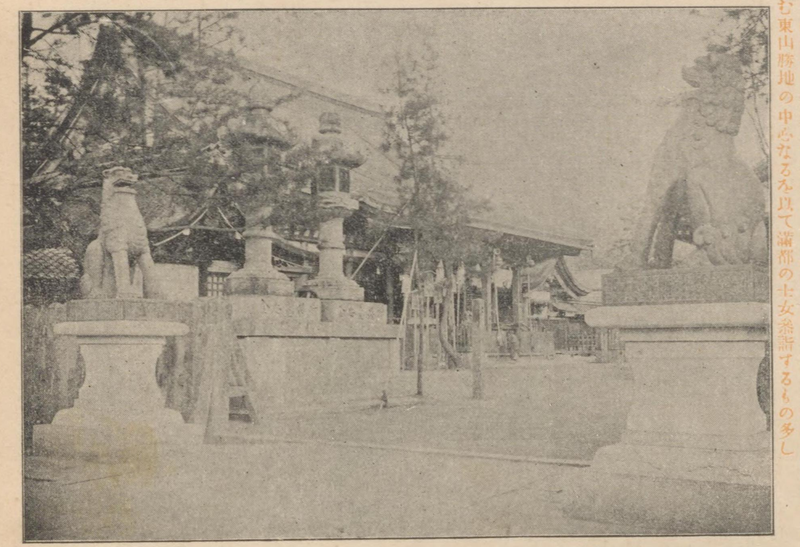
明治二十八年十月設工本館を十七室に分ち新古の寶物稀代の珍器を陳列し　世人の縱覽に供す

別格官幣社にして豐臣秀吉公を祭る　社域廣濶南園一帶森花多し



東大谷

本願寺の廟所なり老木鬱茂晝尚暗き處香煙裊々として絶ゆるなし祖師愛玩の庵石は廟塔の上にあり



八坂神社

官幣中社　素盞嗚尊を祭る　境内末社多し　樓門の朱塗丹桂莊嚴を極む東山勝地の中心なるを以て滿都の士女參詣するもの多し

圓山公園之櫻

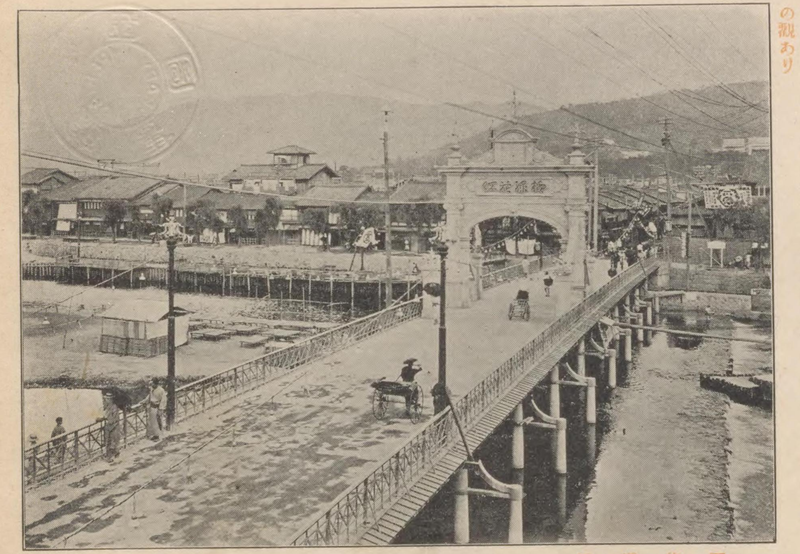
絲桐奏響　音樂繁茂ぜる處万朶の白雲空に飄れる如きは　これ春光三月　艷陽の好季に於ける祇園の枝垂櫻なり　特に幾百の篝火　白球電燈相映ぜる夜景は一層の美觀を呈す

都ノ踊

都ノ踊は例年四月歌舞練場に於て催さる　數十の盛裝せる美妓は　地方囃子の美音曲につれ　翩々として舞ふ　嬌姿艶容は觀者をして恍惚たらしむ

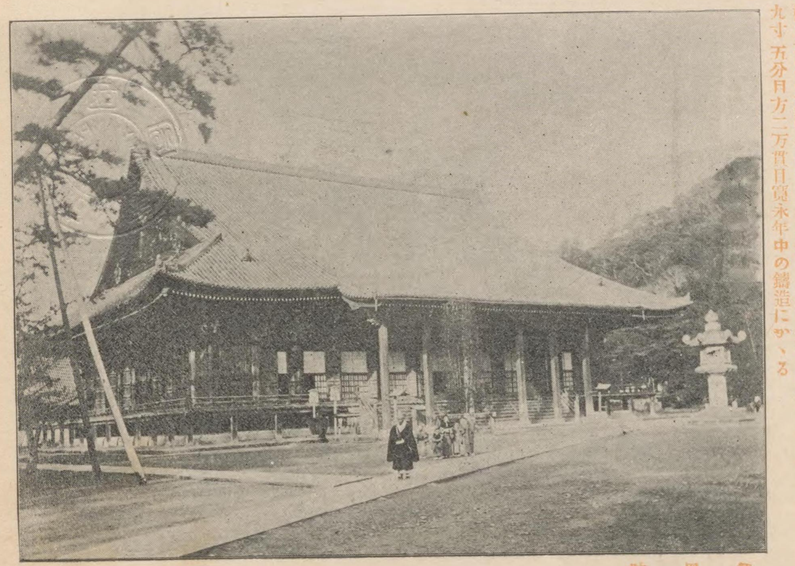
例年七月十七日 全二十四日 祇園八坂神社の 祭禮として山鉾の巡行 あり優美なる祇園囃子につれ練つれ行く山鉾の壯觀言ふべからず

祇園會



四條鐵橋

鴨川に架せる唯一の鉄橋なり　夏季には橋下より桟上一帯無數の床に納涼の客を見て充され幾千の篝火　天を焦さ　煌煌煌々そこにて　不夜城の觀あり



智恩院

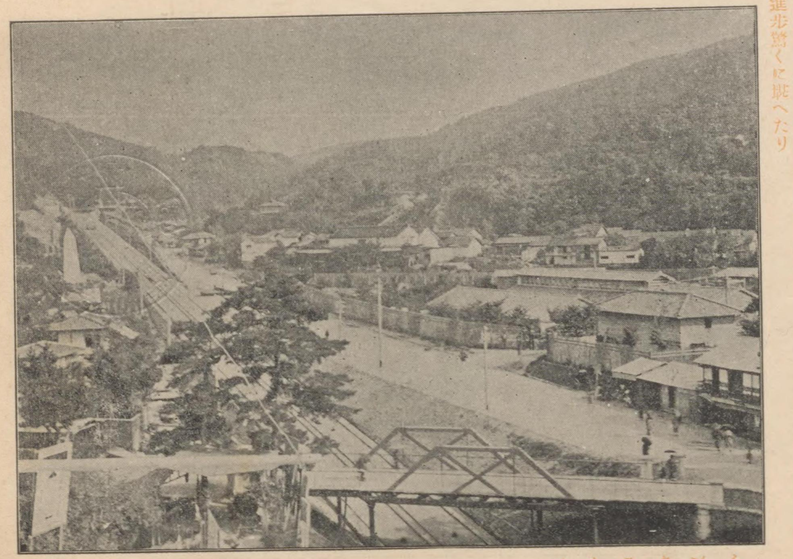
淨土宗の總本山なり　華頂山と號す東山第一の巨刹なり　本堂は德川家光公の建立にて圓光大師の像を安置す　集會所は俗に千疊敷と云ふ　鐘樓は茶所の東山上にあり　有名なる巨鐘は　高さ一丈八寸　徑九尺　厚さ九寸五分目方二万貫目寛永年中の鑄造にかゝる

業田青蓮院

智恩院の北に位す　維新前まで世々法親王の御住職として由緒尊きものなり普通院に隣りして種堅堂あり本尊阿彌陀佛にして右方に親鸞聖人種髪の像を安んず

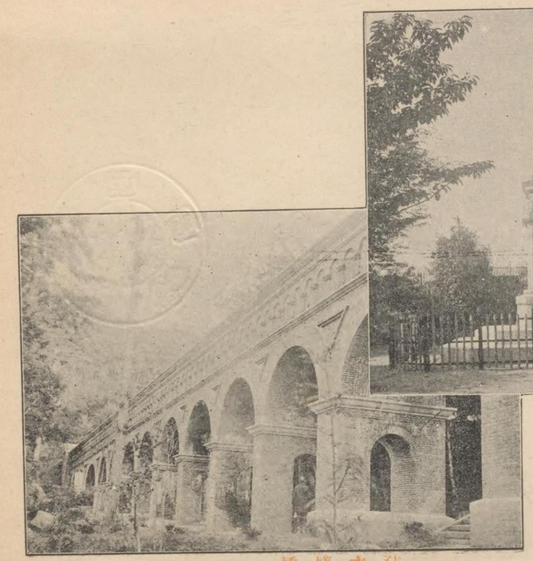
大極殿

桓武天皇平安遷都一千百年紀念として平安神宮を造營し大極殿は其拜殿なり當樓の結構延暦時代の大極殿に模造せしものにして明治二十八年二月竣功金銅の鴟尾丹雘爛として人目を眩し瑠瓦金甍は日朱の檜架楹柱相映して實にこれ洛北の偉觀なり

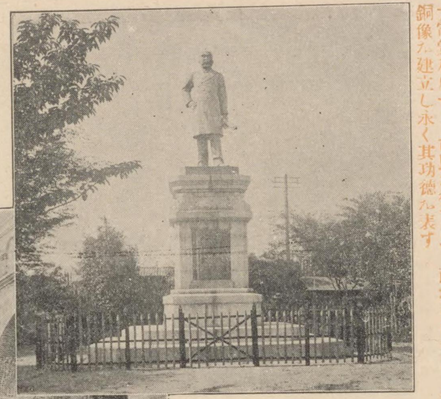


イランクライン

軽頭なくして舟山に上るの奇觀け茲に見ることを得べし　物質的文明の進歩驚くに堪へたり



疏水桟橋



北垣氏ノ銅像

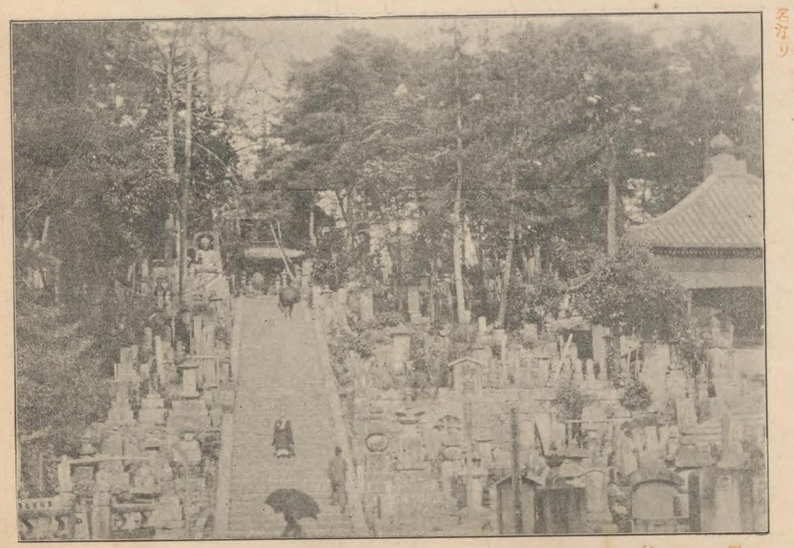
明治十八年起工　明治二十五年竣工　近江琵琶湖三保ヶ崎より約四里山麓丘陵を開鑿し隧道を設け以て工業動力灌漑と諸種の便利を興す其工事の偉大なる一国冠比といふべし　電燈電鉄等總て水力電気利用せり　市民之徳として疏水の中部に経営者北垣男爵の銅像を建立し永く其功績を表す

南禪寺

瑞龍山と號す禪宗の巨刹なり山門は五鳳樓と稱し藤原高尾の再建にかゝる舊離山法皇の皇居なりき

永觀堂

淨土宗西山派なり本堂の阿彌陀如來を總本尊と號す　長三尺の立像なり　楓樹池邊にのうみ秋景賞すべし



黒谷

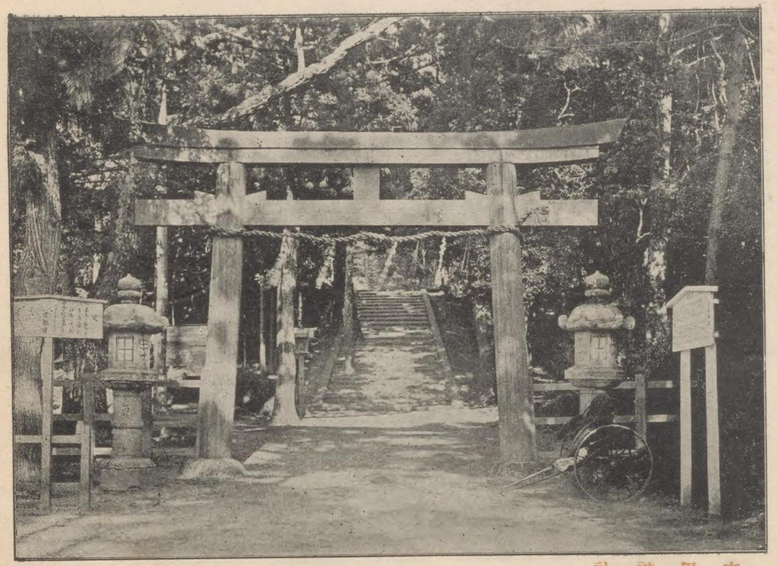
紫雲山金戒光明寺と號す淨土宗鎮西派の一本寺なり本堂元祖大師の像を安置し鎮守堂、熊谷堂、三重塔、紫雲石等あり、熊谷の腰掛松、特に著名なり

眞如堂

天台宗にして　鈴慶山眞正極樂寺と稱す　木尊は阿彌陀佛の眞像にして
慈覺大師の作　楓樹多し

銀閣寺

慈照寺と號し禪宗にして恐山菩提寺の開基なり足利義政公の建立にかゝる二層の高閣美麗華美池邊に沿ふ庭園の風致勝絶なり



吉田神社

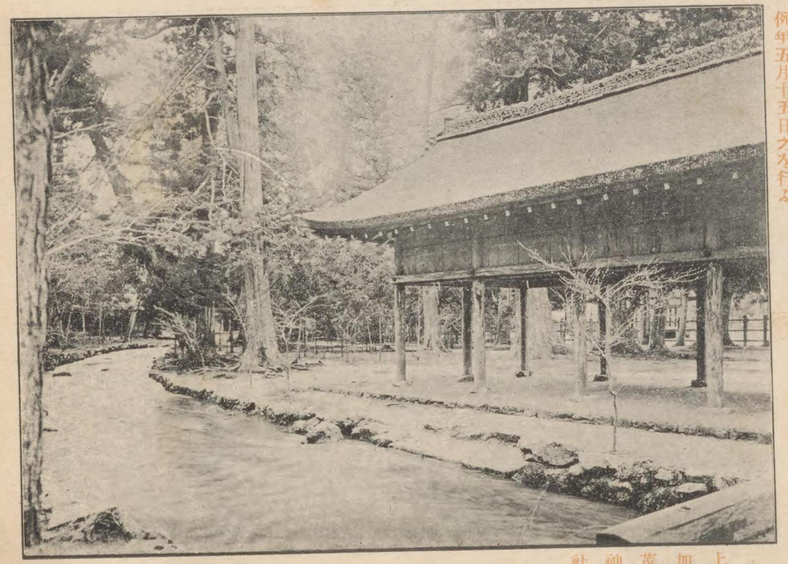
本殿には日本紬祇三千一百三十二座を鎭座す　春日社は西の麓にあり
吉田山一帶の高丘は亭々たる松樹を以てぜん　洛北の全景双眸の中に
収む風光頗る絶佳なり

帝國大學

吉田町にあり 土地高燥 校舎清新 白壁赤瓦交々林立し 洋造の偉觀を極む法科醫科 理工科等各科新進の博士學士講座を擔任し 有爲の人材を養成す 第三高等學校 高等工藝學校 第一中學校等近地にあり

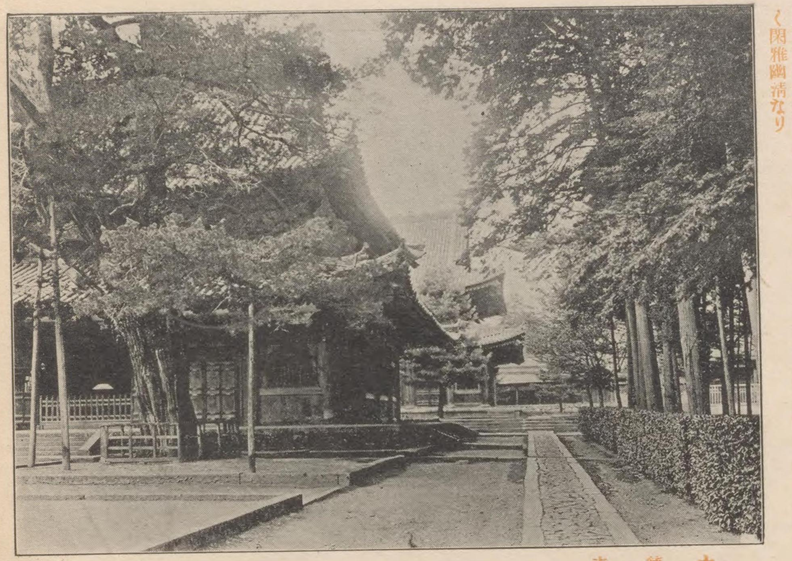
下加茂神社

守將七社にして 火雷神 を祭る 殿社壯麗 神域幽清なり 社境紀の森あり 冷水涌出し 其下流に古杉 老松の棟材として重整ぜる間を流れ 實に欣心を覺ゆ



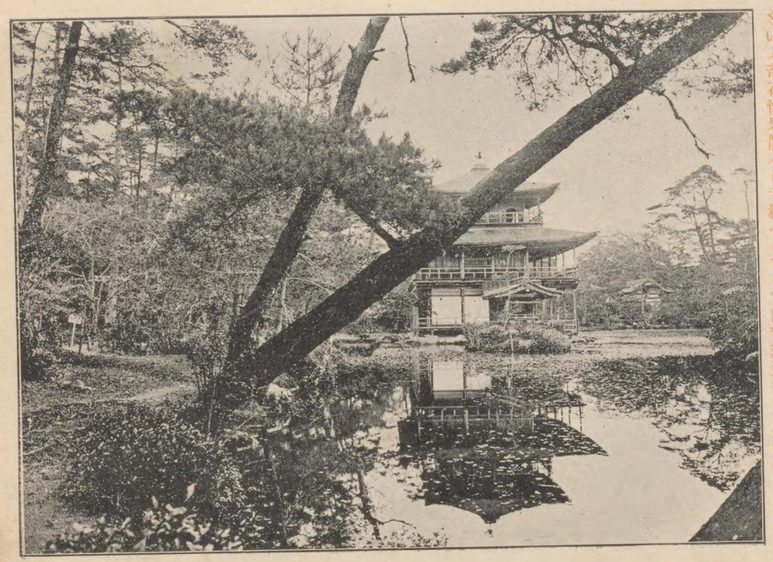
上加茂神社

天武帝白鳳五年の造營、官幣大社にして、祭神は別雷の命なり、建造宏壯壯麗なり、境域廣濶、前圖に於て、毎年六月五日競馬式を行ふ、葵祭は例年五月十五日之を行ふ



大德寺

禪宗の大本山にして龍寶山と號す大燈國師の開基なり境内老松多く閑雅幽清なり



金閣寺

鹿苑寺と號す　應永四年　足利義滿公の造營にかゝる三層の建物金箔を以て全體を裝飾せるを以て金閣と稱す　池あり鏡湖池と稱し奇石怪巖散在し老松亭々として幽雅深遠なり南天の床柱をあり

平野神社

官幣大社　境内櫻樹多く各其種を異にせり　百花爛漫の候　滿都の士女花下に宴飲す夜景賑かなり

北野天滿宮

官幣中社　菅原道眞公の神靈を祀る　攝末社其他の堂宇境内に列し　樓門嚴然そびえ　壯麗を極む　北野公園は紙屋川の清流にのぞみ　梅樹多くして春時清香襲郁たり

妙心寺

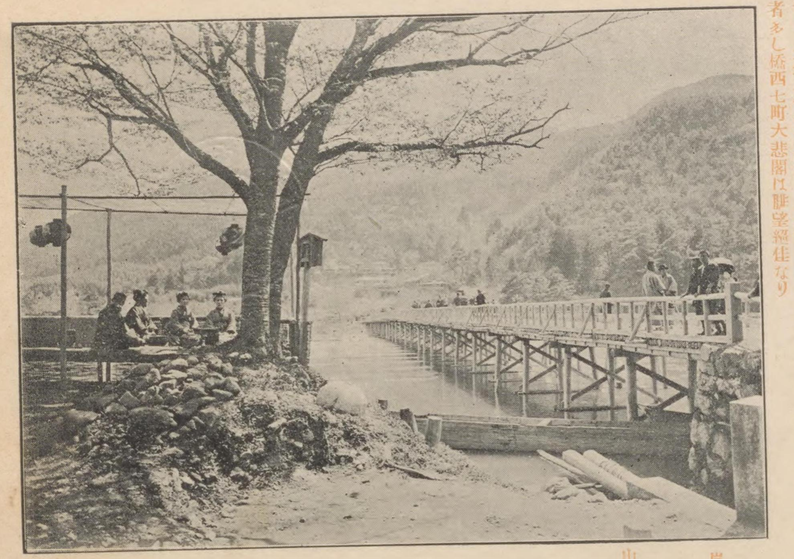
禪宗臨濟派の本山にして　花園法皇の草創にして　正法山と號す　寺域廣濶　坊舍櫛比す　殿堂伽藍宏大にして　老松　雪枝松　燒林として空に凭ゆ　其他名松多し

御室　仁和寺

大内山と稱し光孝天皇仁和四年の創建にかゝる境内廣くして櫻樹多し　幹枝蟠屈して艷麗他に類なし

笠　　置

笠置帝の御宇　和氣清麿の建立にかゝる神護寺と號す　白雲橋は清瀧川に架す　両岸の楓樹は鮮紅燃るがごとし錦繍織るが如し　地藏院の遠景幽邃言ふべし　横尾　摺尾等並んで三尾の勝あり

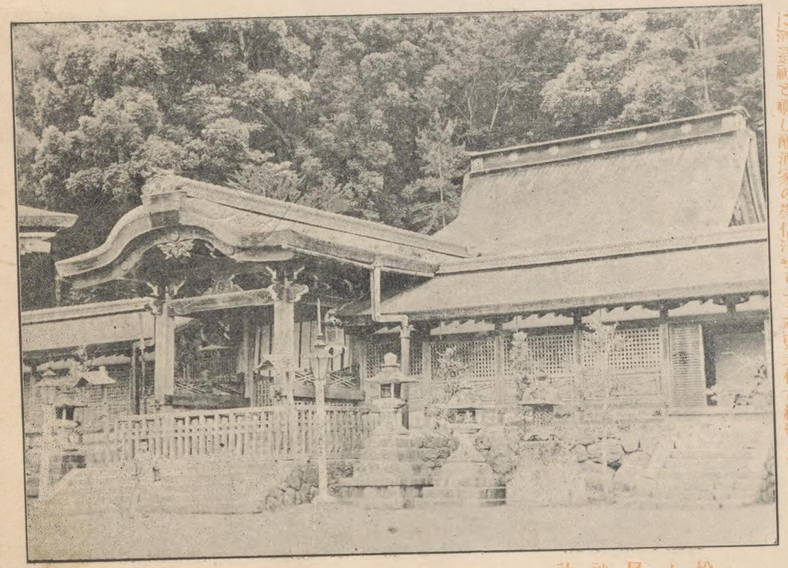


嵐山

春の艸に夏の新緑秋の紅葉に冬の雪山水風光明媚のなる位嵐山なり大堰の清流に架するな渡月橋とす巖窟藏寺は十三參りの參詣者をし嵯峨七町大悲閣は眺望絶佳なり

保津川

怪岩奇石の重疊して懸る處　急流奔騰飛沫四散　舟夫の巧腕は能く散在の岩石に掉して急流を降るのは必ず一遊を試む　壯快言ふべからず　外國人の京都に遊ぶもの



松ノ尾神社

官幣大社　祭神大山咋命　市杵島姫命ノ二柱ニ坐ス　洛西第一ノ大社ナリ又世ニ酒造神ト稱シ醸酒家ノ崇信絶ユルコトナシ　社頭老杉古松鬱々タリ

乙訓郡開田村にあり祭神は菅相丞　社前池邊　躑躅花多く又梅樹多し

長岡天神

男山八幡宮

營幸祖八幡町男山にあり　直觀二年の創建　官幣大社とす　應神天皇神功皇后等を祭る　社殿結構莊嚴　美觀なり　殿内の金物　著名なり

平等院

宇治橋の南二丁にあり　本堂は有名なる鳳凰堂にして全部の築造鳳凰に擬にし更に屋上に金銅の鳳凰をたてまつり　八百年前の古建物として名有り

97
75

明治三十六年八月三十日印刷
仝　年九月六日發行

不許複製

京都市下京區中珠數屋町烏丸東入二十人溝町二十二番戸
編輯兼發行者　西村七兵衛

印刷所　大阪市南區問屋町五十四番邸　中島德太郎

中島寫眞製版所製版

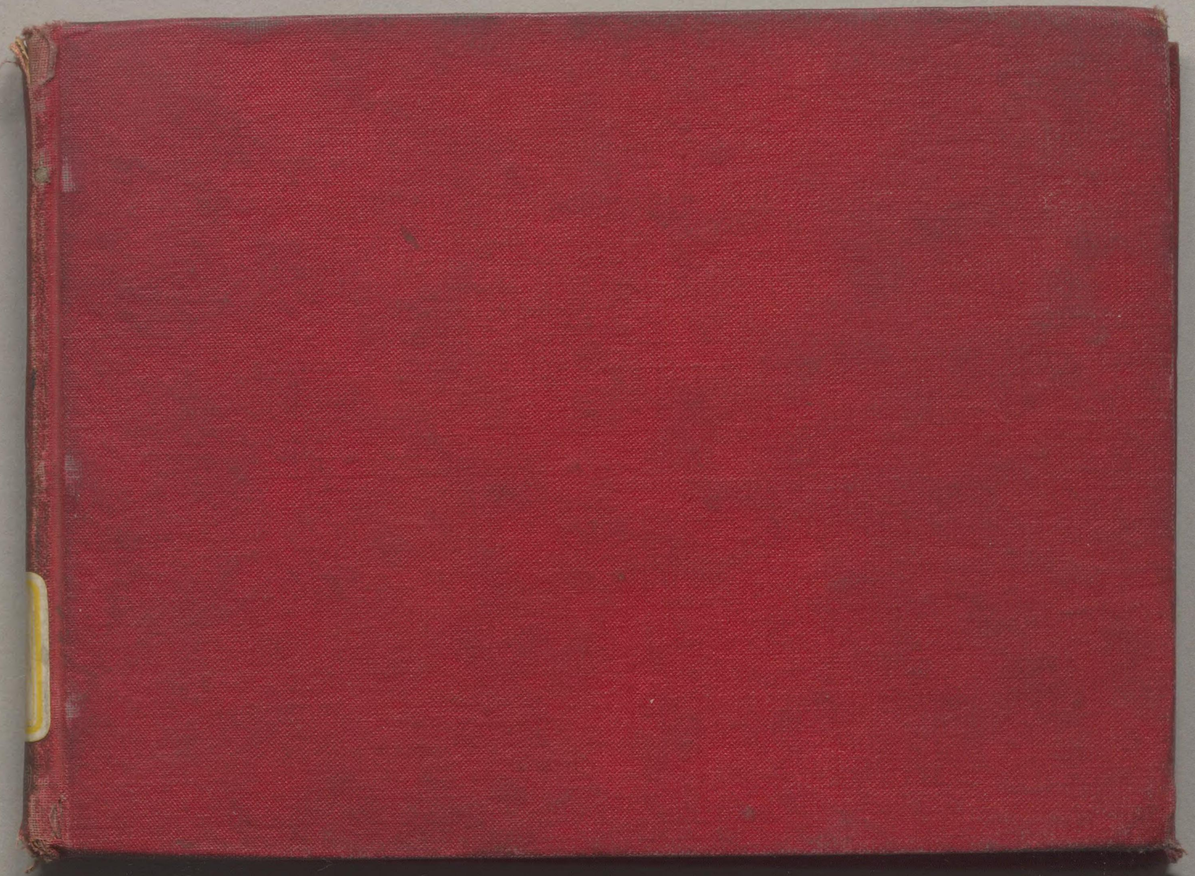
發行所　京都市下京區中珠數屋町　法藏館

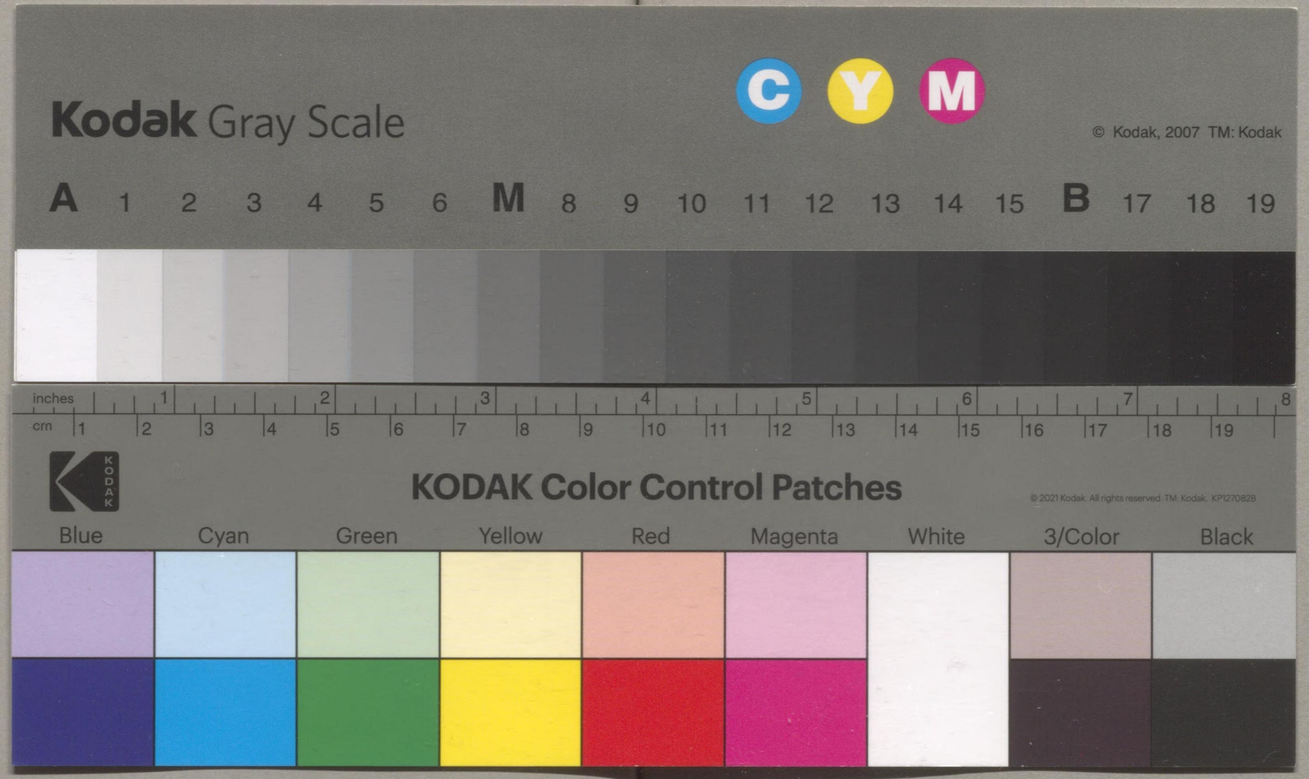
賣捌所　京都市三條通麩屋町角　小林書店

510139

9
75

97
75




Kodak Gray Scale
C
Y
M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
KODAK Color Control Patches
© 2021 Kodak. All rights reserved. TM: Kodak. KP1270828
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black